

学校評価（自園＝聖マリア幼稚園）の公表

2023年度も30日の土曜保育をもちまして無事終了いたしました。聖マリア幼稚園の保護者の皆様をはじめ、その関係者の方々には厚く御礼申し上げます。また、3学期末には、学校評価のご返答をデータにて添付送信して頂きましたこと重ねて御礼申し上げます。この度、ご返答頂きました人数は、14家族でした。ご質問の内容に返答しずらさがあったのかなあと感じました。もしそうであればお詫び申し上げます。しかし、当園が大切にしていることに対して、また新たに開始したことに対して、保護者の皆様はどのように捉えて下さっているのか知りたいと思いますし、時代の流れとともに幼稚園でも今後どのように取り組むべきかと考えております。まずは、時代の流れがどうであれ、子どもたちにとっての経験値として受け止めて頂きたい思いもあるということをご理解頂ければ幸いです。その上で、2024年度はどのようにするべきかと考えていこうかとまた教職員間で考えて参ります。まずは、皆様からのご意見ご感想等々をHPの「情報公開」の窓にUPさせて頂きたいと思います。みな様それぞれにてご確認ください。またさらにお気づきになられたり、ご意見、ご感想、ご質問がございましたら、いつでもお声掛けください。新しい学年、また入学に向けて良き心の準備がなされますように。次年度も宜しく願いいたします。嬉しい内容もたくさんあり、感謝申し上げます。

（青い字は園からのご返答です。）

1) 葉書の案内について

- * 葉書が届くと子どもと一緒に書いてある内容を確認しています。「〇〇先生からだよー」と聞くと子どもは嬉しそうに葉書を見えています。私は行事の再確認が出来るので助かっています。
- * 年賀状や残暑見舞い等、周りの方からいただく機会、特にコロナ以降急激に減ったので、子どもは自分宛への葉書をとても喜んでいました。
マリア幼稚園からの葉書をもらうと、「自分（こども）を待っていてくれる先生や幼稚園という存在」を実感出来て嬉しいです。同時に、夫は先生たちのご負担になってないかと少し心配しておりました。

お気遣いに感謝いたします。
- * ペーパーレスの時代、ポストに自分宛での葉書がくることは減多ないので、とても喜んでいますが、切手代などかかることと思いますが、郵便の仕組みも学べるし、続けて頂けるとありがたいと思っています。
- * 各学期の案内は毎回子供と一緒にみえています。子供が「自分にきたお手紙だ」とすぐにどこかへ持って行ってしまうので、子供の目につかない場所に保管するのが毎回の悩みでもあります。アプリでの配信というのも考えられる中、残暑見舞いや年賀状として送っていただくことは嬉しいことです。
- * 親子で確認しております。子ども自身も幼稚園から自分へのお手紙と捉えて持ち物を確認しているので有り難いです。

*いつも次の予定が分かり助かっています。

*子ども宛にお便りをいただき、いつも親子で内容を確認させてもらっています。せっかく先生から本人宛に届いたメッセージ。大事に読んでほしいと思ってはいるのですが、2号認定の我が家では長期期間中も含めほとんどの日、保育を利用させてもらっているため、内容について関心を向けにくいところもあるようです。なかなか親が思い描くようにはいかないものですね。

確かに。学期の始まりと終わりの「時」が掴みにくくなっているのですね。

*長い休み中に、もうすぐ幼稚園が始まる！と子供たちが意識するきっかけになっています。卒園児への運動会ご招待はがきも嬉しそうに読んでおります。
はがきでなくても、配信されたものを家で印刷して読ませてあげることも可能です。

なるほど、家で印刷して頂けない場合もあるかも知れまへんね。2024年度での対応を考えていきます。

*年賀状は家族で拝見しております。
聖マリア幼稚園に入園したのだなと実感が湧いて嬉しく読ませて頂きました。

*お知らせという点では、アプリ配信で充分だと思います。
幼稚園ですと長期休暇のお子さんもおられますが、保育園の時はお正月くらいしか休みがなかったので、このようなご案内はありませんでした。年賀状のみでした。年賀状だけは残ると良いなと思っています。

*我が家では娘とともに毎回とても楽しみにしておりました。ですが、先生方には大変なお手間なのは、とも思っておりました。

*いつも園からのお葉書にとっても喜んでいますが、先生方のご負担を考えると、アプリ配信等もありますので、なくてもいいのではないかと思います。

*現状では親子で確認しているのは3割程度で、親のみの確認がメインになっています。
幼稚園から葉書が届いているよと声かけをしています。親からうまい声かけができていないためか、あまり子ども達の関心を向けられていないように思います。なお、葉書での案内について、風流さを感じていいと思う一方で、郵送費や対応のお手間などを考えると、今後あえてご準備頂く必要があるのかどうか検討する時期ではあるのかもしれませんが。2号認定ということもあって長期預かりでお世話になっていることもあると思います。

2)絵本について

*昔話は最初から最後まで話を聞くという事がまだなかなか出来ず(1ページの文章が長いと特に)童謡の絵本を見て一緒に歌ったりする方が多いです。図書の貸出は子供がたのしみにする様になりました。帰ってくると「○○かりた！」など教えてくれます。最後までしっかり読む訳ではないですが、3びきのこぶた・おおきなかぶ・ももたろう・ありとぎりぎりす・しらゆきひめ は読み聞かせ、えいご絵本で1歳半頃からタッチペンで遊びながら触れているので馴染みがあります。

*絵本は家でもよく読んでいます。
「鶴の恩返し」や「かに昔」や「3びきのこぶた」などのお話から、どんぐり村シリーズやそら豆くんシリーズなど色々な本を読んでいます。親指姫は幼稚園でお借りしてから知ったと思いま

す。図鑑よりは物語になったお話が好きなのかなあと思っています。

*【図書の貸し出しについて】

Mの年齢にしては「長編」の本を幼稚園から借りてきて、驚かされることもあります。小1の姉とMにその本を読み聞かせすると案外上の子が気に入ることもあり、絵本を小さいころから「子供自身による選択」で行うことの意外な利点を発見することもあります。

兄弟や姉妹がいると、家でたっぷりその子の好みの絵本を読む時間を取るのが難しいのですが、その分、園で読み聞かせしていただいているので少し安心です。

- ・公共の図書館へ行くこともありますが、返却日通りに返しに行けないことも多く、幼稚園で毎週借りてきてくれるシステムは親にとっても助かります。

【読み聞かせについて】

*絵本の読み聞かせをはじめ、幼稚園での劇ごっこや、人形劇の観劇は子供に「物語の疑似体験」をさせてくれ、（動画やアニメをただ見るのとは全く別次元）のちにその子の心の栄養になっていくものだと思います。なので、園で大好きな先生にお友達と一緒にたくさん読み聞かせをしてもらえ娘は恵まれているなあと感じるとともに、先生方へは感謝の気持ちでいっぱいです。

【こどもが好きな本、お話、家庭で読んでいる本について】

*寝る前に読むのは、こどもが幼稚園で借りてきた絵本が中心です。正直、上の子の時と比べて読んであげている本数は減ったかなと感じております。

「バーバパパ」や「ノンタン」「ももんちゃん」「ばばあちゃんシリーズ」など、その時々でブームがありそのときの好きな本を繰り返し読むことが多いですが、最近は「世界、日本の昔話1日1話シリーズ」を読むことも多いです。最近は動画やアニメ配信などで、世界や日本の昔話を観る機会が多く、その経験から「少し知っているお話」を家にある「昔話集」で見つけ「読んで」とせがまれることも多いです。

- ・先生に読み聞かせしてもらった絵本は思い入れが強いようで、何度も園から借りてきます。読むほうは「またこれか」とも思いつつ、その絵本を家でも読むことで、本人が楽しい気持ち、安心した気持ちになっていることも感じるのので、「繰り返し」「好きな人に読んでもらう」ことの大切さを教えられている気がします。

幼稚園の間の「繰り返し」は貴重な体験です、本人が「もういいわ、違う絵本にする」と言われるまで続けてあげてください。お子さんの心の中に「何か」が育っているのです。

*借りてきた本はその日のうちに一回は一緒に読むようにしています。

家での読み聞かせはが多くなってしまい、季節に合わせた読み聞かせを園でしていただいていることに感謝しています。

子どもたちの「好きな本」と「園での意図した「読み聞かせ」とは異なりますので、両方の経験があると嬉しいですね。

*メジャーな昔話は園やどこかで触れることがあるだろうと思い、家庭では珍しい本ばかりを購入しています。案の定グリム童話などを園で借りて帰ることも多々あり、バランスをとっています。内容のリズムが面白く感じたり、はまった絵本があると1週間のうち何度でも読んでと持ってきます。親子で楽しんでいます。

*これを借りて来たと教えてくれて、一緒によんでいます。最近では自分でゆっくり読

でいる姿もあり、助かっております。

お父さん、おかあさんのお時間があれば読んであげてください。読めるようになっても低学年の間の読み聞かせは貴重な体験で、お子さんの心に残ります。

- *長男の時は読み聞かせを行っていましたが、現在下の子のお世話に手がかかることもあって、長女に対してはあまりできておりません。メジャーな昔話を含めた絵本をいくつか本棚に置いてはいるのですが、読んでほしいと持ってくるのは、そうした本にはなかなか関心を向けてくれず、今風の（中身は薄そうだけれど）目を引く絵本や図鑑などのことが多く、メジャーな昔話に親しむ機会があまり持っていないことは残念に感じています。

年齢と共に、またお友達の影響も場どもあり、読みたい本の内容が変わってきます。それで良いと思います。小学校に行けばまた変わってきますよ。

- *寝る前の絵本タイムが日課になっています。

おままごとや工作の相手は苦手なのですが、絵本を読んであげるのは大好きなので、役になりきって読んでおります。図書の本も昼間よりは夜に読みます。子供たちが5・6歳の頃から、365日の読み聞かせ、のようなご本をよく読んでと持ってきます。一つ一つのお話の内容は簡潔になっていますが、グリムやイソップなどの世界中のお話、日本の昔話、落語、伝記、星座と神話などいろんなジャンルに触れられるのが面白いのか真剣に聞いていてくれます。

- *貸し出し頂いた絵本は妻や私が読み聞かせしております。

子供達が興味を持って借りた絵本ですのでよく聴いてくれます。園の図書室にとってもたくさん本があるのでありがたく感じております。家でよく読む絵本は谷川俊太郎さんの絵本(「もこもこもこ」「これはのみのぴこ」)など声に出して体感として面白いものが2人とも好きです。

- *毎週の貸出を楽しみにしており、寝る前に読み聞かせていました。

ひらがなを覚えた頃からは1人で声に出し、黙々と読むことが増えました。月々で届く絵本に国内（桃太郎、かぐやひめ、浦島太郎等）海外（三匹のこぶた、あかずきん・北風と太陽等）名作ものもあり、保育園の頃から読んでいました。貸出で本人が選んでくる本は、本人がその時何に興味を持っているのかを知ることができ、普段の会話でも、お話の内容を取り入れたりしていました。

- *毎晩寝る前には絵本（あるいは伝記漫画など）の読み聞かせがデフォルトになっています。幼稚園からお借りするご本は、登場したり、しななかったりですが、、、（借りること自体が楽しいようですね♡）園にて本と親しむことを促してくださり、素晴らしいと思います。

- *幼稚園のおかげで、子どもたちは、本が大好きになりました。小中学生の姉たちは、毎日暇があればいろいろな本を読んでいます。国内外のメジャーな昔話は、あまり家では読んでいないので、幼稚園で初めて知ることが多いかもしれません。

- *幼稚園から借りている絵本は寝る前に一緒に読むことが多いです。家庭ではバムケロシリーズやパンどろぼうシリーズ、ノラネコぐんだんシリーズなど最近人気の絵本を読むことが多いので、国内外のメジャーな昔話を読む機会があまりないのはどうなのかなど思っているところです。その点、幼稚園から借りてくる絵本や月1回でいただく絵本などは、普段、家庭で子ども達が読む（選ぶ）絵本とは違うことも多く、色々なバリエーションを広げることができていいなと思います。

3) 園バスについて

*バスは帰りを利用しています。

登園時に「今日はバスチーム？」と帰りに乗ることを楽しみにしています。いずれは登園時も利用したいと考えていますが、登園時間が安定しない我が家にとってはピックアップ時間がネックになっています。申し込む前に仮で時間を確認する事が出来ると助かります。

お申し込みくださった方のご自宅の場所により、スケジュールを組みますので、事前にはお伝えできかねます。生活時間とバスの時間が上手くいかされるようになりましたら、ご利用をお考えください。ただし、通年での申し込みになることをご了承ください。

*園バス利用しており、赤ちゃんがいるので、家の近くまで来ていただけるのはとても助かっています。待ち時間はしりとりやクイズの出し合いをしています。家だとどうしても他のことをしながらの遊び相手になってしまいますが、バス停だと集中して遊べるので貴重な時間になっています。ただ、今まで毎日顔を合わせていた保護者の方や先生方、他のお友達と会えないのは寂しく感じています。

*園までの距離が少しあるので、とても助かっています。

特に、雨の日や寒い日などの登園がこれまで大変でしたが、園バスのおかげでストレスなく園に送り出すことができ送り迎えにより仕事への影響も最小限にすることが出来ています。本当に有難いです。

*バスの送迎で、チャプレン先生や団先生という担任の先生以外の先生や異年齢のお友達との「園バス」での時間を子供も楽しんでいる様子が、子供の口ぶりから伝わってきて安心して送迎をお願い出来ています。チャプレン先生や団先生の毎日の送迎お手伝い頂き感謝の気持ちでいっぱいです。

*今のところ少人数での園バス登園なので、これが人数が多くなればさらに先生方の負担も増えるのではと思うのですが、

*子供からは申し込みをと言われるのですが、バスに乗るより近いので申し込むことはありませんが、何か行事などで機会があれば乗せていただけると喜ぶと思います。

そうですね。卒園した緑組が宿泊保育やお別れ遠足で利用したように、また考えてみましょう。

*自宅から距離があるため無縁ですが、登園時に幼稚園バスと出会い園まで連なって走ることがあり、我が子は喜んでます。なにより今までなかったマリア幼稚園のバスが、広告塔のように京都を走っているということ自体が可愛らしくて、何故かとても嬉しいです。

*家が近いのでバスを使う予定はないので特にはないです。

*園バスができた事で車の乗らない方などにもマリアを紹介しやすくなりました。卒園までに園バスを利用しない子供も一度は乗れたらいいなと思うと同時に園児が増えるといいなと思っています。

ありがとうございます。バスの運行と共に、メリーちゃんやpre-preへの保護者の方々のご理解また当園に関係する全ての方々のお口添え・協力により、次年度は31人での出発になります。

*お支度にとにかく時間がかかる娘。時間を守ることは大事なことで、幼稚園とのおやくそくだよとを教えるためにも朝だけでもバス登園にチャレンジしても良かったのかなと考えることもあります。広範囲から園児が集まりますように。でも、先生方のご負担になりませんように。

園バスを見つけたら手を振ります、チャプレン先生、団先生！

*Sの利用を少し検討しておりますが2号認定ですので朝だけなど限定的にしか利用できないかと思っておりますので申し込みはしておりません。

園バスに子供達は興味を持ち乗りたいと言う時もありますので月額ではなくチケット制のように数日だけでも利用できればありがたいと思います。ルートや管理の問題など難しいかと思いますがご検討頂ければ幸いです。

通年での申し込みをしていただいています。おっしゃるようにルート作成には、安全を第一に考え、チャプレン先生が、何度も試運転をして、決めてくださっておりますので、チケット制でのご利用は、ご容赦願いたいと思います。すみません。

*利用はしませんでした。登園時に車から園バスを見つけ大変喜んでいました。仕事柄、運転する時間が長く、色んな園バスを目にしてきました。どんな園なのか、わからなくとも、目に入ってきたバスの園名・特徴だけでも、記憶に残るもので、園の存在が認知される＝広告の役割も果たしていることを感じていました。

*12月以降、朝の登園時のみお世話になりました。早く登園準備をするきっかけにもり、4月からの就学へのリズム作りにも大変ありがたかったです。朝早くから、チャプレン先生、団先生、サポートの先生・ヘルプの方、本当にありがとうございました。

*もう卒園してしまいましたが、いろいろなところでマリア幼稚園の園バスに出会うのが、親子とも楽しみです。

*園バス利用者で今後も引き続きお世話になりたいと思っています。

毎朝、チャプレン先生、団先生にお迎えに来ていただいて大変有難いです。本当にありがとうございます。次男はバスの時間を意識して朝の準備をするようになりました。三男も、朝の準備中、些細なことでイヤイヤしだしても、バスの時間までに準備しないといけないというのが頭にあるおかげで、以前よりも朝ぐずることが減ったように思います。バスの導入、ルートや送迎時間帯の確認など、ご準備の上では様々にご苦労があった事と思いますが、感謝しかありません。

4) その他

*まだ短い期間しか在園しておりませんので年間を通しての意見等は申し上げられませんが、印象として気になった点は、3月頃のスケジュールがタイトかなという点です。

Kが初めての子ですので他の園などのことは分かりかねますので普通のことかもしれませんが「思ひ出の声」録音、春の集い、卒園式、卒対など短い期間に覚えることが多く1つ1つは有意義な機会だと感じつつ子供には負担になるのではと感じました。

1年(あるいは3年間)の園での生活に慣れた方とはまた違うのかと思いますので、我々が特殊な部分もあるかと思いますが気になったので記入致しました。

ありがとうございます。本当に短期間だったのもで、タウ編だったと思います。当園での日々の保育・年間カリキュラムを積み重ねての緑組3学期の集大成を迎えます。しかし、Kちゃんの持ち前の明るさがしっかりしてみんなの中に溶け込めた為、私たちはkちゃんに添いながら微笑しく見守り、援助させていただいていました。ご両親のご協力に感謝します。

*給食の業者さんが変更になり、添加物などなく安心して食べられるものになったことが、何より有り難かったです。また、パンは嗜好品だと思っていますので、パン給食の回数が減ったことも嬉し

かったです。

各行事では、お役目を通して今までにない成長した姿を見ることができました。家庭環境が大きく変わり、心配や不安がありましたが、予想よりスムーズに適応することができたと思います。

よく観て、丁寧に接してくださる先生方のサポート、お友だち・保護者の皆様のおかげ様です。

マリア幼稚園で本当に良かったと改めて思いました。

- * プレプレ・小花クラスから、我が子の大事な成長の時期を御見守りくださり、本当にありがとうございました。家庭的な温かさ、品のある教育、様々な体験と学びの場、そして素晴らしい先生方と「祈りの心」、親も含めて包み込んでくださる、大きな愛。貴園のすばらしさは挙げ切れないくらいです。

特に今年度後半に見られるようになった、娘の「ここは私のHome!」というくらいの心地よさ・自信を感じさせてくださる幼稚園に巡り合えたご縁に、心から感謝申し上げます。

様々書きたいのですが、、、言葉は尽きなくなりますのでこの辺で。また遊びに伺います！

本当にありがとうございました！！

- * 本当にもう卒園。。。全然実感がわきません。

まだまだ、マリア幼稚園にいたい気持ちが親子ともにあるのでしょうか。上の子たちも、もう1年いてほしいと言っています。。

思い返せば、長女が病気のため入園に対して不安だった気持ちを優しくつつんで下さり、親子ともに安心して楽しく園生活を送らせていただきました。下の子たちも、マリア幼稚園が大好きで、毎日楽しく通い、様々なことを学びました。

お休みの人や困っている人を思いやる心を教えてくださったことが、大きくなってもずっと心の中に根づいています。たくさん思い出があるマリア幼稚園。三女は、今もさみしさを隠せません。ここで学んだことを大事に、これからも頑張っていくことでしょう。

本当に長い間大変お世話になりありがとうございました。

- * いつも園長先生、チャプレン先生、担任の先生方はじめ、幼稚園全体で温かく子ども達の成長を見守っていただき、ありがとうございます。兄弟ともにいつも楽しく園生活を送っていて、本当に有難く思っています。マリア幼稚園を卒園した長男も、行事の度に幼稚園に戻ってくるとすごく生き生きと楽しそうで、このような関係性を続けられる聖マリア幼稚園の魅力はこれからもずっと続いてほしいなと願っています。今後とも宜しく願いいたします。

皆様のご協力に感謝申し上げます。